

## FIG ローマ大会と東日本大震災

西修二郎

FIG2012 ローマ大会は、5月6日～10日の日程でローマの Cavalieri ホテルで開催された。約 100 ヶ国、1200 名の参加者があった。FIG の大会は毎年開かれ、世界の測量関係者が 1000 人以上集まる国際会議である。

### 1) スペシャルセッション

今回の会議で、日本測量者連盟は FIG に加盟して以来初めて特別代表団を派遣し、スペシャルセッションを開催した。これは東日本大震災という未曾有の経験に際して、日本の測量界がどのように対応したか、日本の geospacial 技術が地震をどのようにとらえたかを世界に知ってもらうためのものである。このスペシャルセッション開催の話は 1 年前の FIG2011 マラケシュ大会に遡る。各国の代表者が集まるプレジデントミーティングの席で東日本大震災への FIG から頂いたお見舞いに対してお礼を述べた際、TEO CheeHai FIG 会長から日本の地震、ニュージーランドの地震、オーストラリアの洪水等大きな災害が頻発している。これらの災害に測量はどう対応したかを考えるセッションを考えてもいいのではないかという話があった。昨年 12 月にローマ大会のアブストラクト募集の際、FIG 会長にこの話を確認したところ、アブストラクト提出状況を見て判断したいということだった。村井日本測量者連盟会長に話したところ、東日本大震災だけのスペシャルセッションを設けてくれるなら自分も発表するという。FIG 会長と Markku Villikka FIG 事務局長にかけあったところ、今回日本だけのスペシャルセッションを開催することが決まった。後は発表者の確保である。国土地理院にお願いして、永山防災企画官（当時）、と山際測地技術調整官を派遣して頂くことができた。日本土地家屋調査士連合会から南条さん、パスコからは吉川さん、あと村井会長と測量協会の平田さんの 6 名にお願いした。発表分野も国の対応から測地、リモートセンシング、GIS、地籍と測量全般をカバーできた。

最終的なスペシャルセッションの発表内容は以下の通りである。

村井俊治 東日本大震災の教訓

永山透 東日本大震災に対する国土地理院の対応

吉川和男 リモートセンシングによる震災監視

山際敦史 基準点の震災改訂

平田更一 GIS の震災ボランティア活動

南城正剛 震災地籍図の改定

スペシャルセッションの発表には、FIG 会長や IAG 国際測地学協会会長の顔を見せるなど、50 人程度はいる会場は立ち見席も出るほどの盛況であった。日本測量者連盟が FIG に加盟して以来初めての日本のプレゼンスの場となった。



スペシャルセッション会場の様子（会場には FIG 会長、IAG 会長の顔も）



## 2) FIG

国際測量者連盟（FIG）は、全世界の測量者の利益を代表する国際的な組織である。その歴史は古く 1878 年にパリにて創設されている。正式名称はフランス語で **Fédération Internationale des Géomètres** と表記され、その頭字語である FIG がその略称である。現在 FIG は国連で認められている非政府組織（NGO）であり、100 カ国以上からの会員で構成されている。FIG の大きな目的は、地域や市場のニーズにあった測量が行えるようにすることである。FIG の活動は 4 年毎に作成されるワークプランに沿って行われる。現在のワークプランは“能力開発”をテーマにかかげている。これは測量技術者が社会的、経済的な変化あるいは技術的、環境的な変化に対応できることに焦点をあてた計画であり、専門機関での測量教育強化や継続教育の推進により測量技術者が市場のニーズに応えられるようにすることに重点を置いている。

ただ FIG のいう測量技術者は、日本で我々がふつう使う測量技術者よりはるかに広い概念を含んでいる。大雑把に言えば日本の測量士に土地家屋調査士や不動産鑑定士、更には都市計画プランナーまで包含したものということになるのか。この守備範囲の広さは FIG の中に設けられている分科会の構成によく表れている。分科会は FIG の技術的な活動を行うもので以下のように 10 の分科会に分かれている。

第1分科会：測量実務、第2分科会：測量教育、第3分科会：空間情報の管理

第4分科会：水路測量、第5分科会：測位と測定、第6分科会：応用測量

第7分科会：地籍測量と土地の管理、第8分科会：空間の計画と開発

第9分科会：不動産の評価と管理、第10分科会：建設経済と経営

FIG の活動の中心になるのは、総会で選ばれる会長と副会長で構成される評議会とその評議会の下にある分科会である。その活動で特に重要なのは、定期的に行われる総会、年次会合の運営である。



FIG 総会

これら FIG の活動の様子は FIG の HP (<http://www.fig.net/>) や分科会のニューズレター ([www.fig.net/comm/comindex.htm](http://www.fig.net/comm/comindex.htm)) で入手可能であるので一度見て頂きたい。日本測量者連盟は、この FIG の日本における唯一の会員団体である。FIG の守備範囲の広さに対応して国内の7公益法人（全国建設研修センター、全国測量設計業協会連合会、日本水路協会、日本測量調査技術協会、日本地図調整業協会、日本土地家屋調査士会連合会、日本測量協会）と企業会員および個人会員とで構成されている。その活動は HP に示されているので、こちらも是非見て頂きたい (<http://www.jsurvey.jp/jfs/index.html>)。

この FIG の会議は毎年行われており、来年はナイジェリアでの開催である。測量会社の技術者の皆さんには会社の宣伝を兼ねて是非会議へ発表参加を検討してもらいたい。